

例1 ある博物館の入館料は、おとな a 円、中学生 b 円です。このとき、次の等式や不等式はどんなことを表しているか。

- (1) $\overset{\text{おとな}}{a} - \underset{\text{中学生}}{b} = 500$ \longrightarrow おとなの入館料は、中学生の入館料より500円高い。
おとなの入館料と中学生の入館料の差は500円。
- (2) $\overset{\text{未満}}{a+b} < 2000$ \longrightarrow $A < B \rightarrow A$ は B 未満
おとな1人と中学生1人の入館料の合計は、2000円未満である。
- (3) $\overset{\text{以上}}{2a+3b} \geq 3000$ \longrightarrow $A \geq B \rightarrow A$ は B 以上
おとな2人と中学生3人の入館料の合計は、3000円以上である。

例2 x mのひもから a mのひもを2本切り取ったら、5m残りました。次の式はどんなことを表しているか。

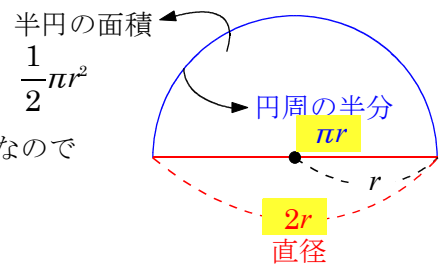
- (1) $x - \overset{\text{はじめの長さ}}{2a} = \underset{\text{切り取った長さ}}{5}$ \longrightarrow x mのひもから a mのひもを2本切り取った残りの長さは5mである。
- (2) $2a + 5 = x$ \longrightarrow 切り取る前の、もとのひもの長さを表す。

例3 a Lの水が入る水そうに、3Lの水が入っています。この水そうに毎分 x Lずつ水を入れるとき、次の式はどんなことを表しているか。

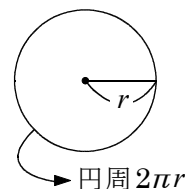
- 4分 \times x は1分間に入る水の量 \rightarrow 4分間に入った水の量
- (1) $4x + 3$ \longrightarrow 水を入れはじめてから4分後の水そうの中の水の量。
 はじめから入っている水の量
- (2) $4x + 3 < a$ \longrightarrow 水を入れはじめてから4分後の水そうの中の水の量は、
 少ない 多い $A < B \rightarrow A$ は B より少ない
水そうの容積より少ない。
- (3) $5x + 3 = a$ \longrightarrow 水を入れはじめてから5分後の水そうの中の水の量は、
水そうの容積に等しい。

例4 右の図のような半円があります。次の式は、半円の何を求める式か。

- (1) $\frac{1}{2}\pi r^2$ πr^2 は半径 r の円の面積を求める式なので
 $\frac{1}{2}\pi r^2$ は半円の面積を求める式である。
- (2) $2r + \pi r$ $2r$ は直径の長さを表す。半径 r の円の円周は
 $2\pi r$ で、 πr はその半分の長さ、よって $2r + \pi r$
は、半円の周の長さを求める式。



円の面積 πr^2



- (1) 答 半円の面積を求める式
- (2) 答 半円の周の長さを求める式